

# ごみの問題

特集

## 未来へ向けて





# わたくしたちの 過去・現在・未来

清掃センター内のごみ焼却施設の使用期限が平成26年度末までと迫ってきたことから、我々の生活に欠かすことのできないごみ問題について、平成27年以降のごみの行方についてお知らせします。

経過は、『ごみの固形燃料化』『処理施設の場所は俱知安町』の二点が羊蹄山麓7町村長の協議会で決定されています。その後、事業方式（誰が処理するのか）について福島町長は、『民設民営方式』を継続性リスクや将来的な進化、コスト面などにおいて総合的に判断し優位であることから、この方式を協議会へ提案しました。これに対し羊蹄山麓6町村長はおおよそ同意見ではありましたが、決定には至らず検討しているところですが。

## ごみの出し方は変更する？

もやせるごみについて、平成27年度よりごみを固めて燃料として再利用する（固形燃料化）方式を採用することになりました。

しかしごみの出し方は基本的に今までどおりの分別と変更ありません。ですが『おむつ』や

『生理用品』（在宅医療廃棄物含む）などは様々な理由から現時点では燃料化が難しいため、別の袋で出してもらい処理する予定です。これまでの分別方法に

「衛生ごみ」（仮称）の分別が加わるイメージになります。

## 燃やせない・生・資源ごみは？

燃やせるごみ以外のごみについて、今までどおり皆さまが行っている方法に変更はありません。

## エコガレージやリサイクル

### センターはどうなるの？

エコガレージについては平成27年度以降も継続使用を考えています。リサイクルセンターについては今後検討していきます。

## 経費については？

今の体制では年間約2億6千万円の内、もやせるごみの処理経費は約1億3千万円となります。

平成27年以降については、役

場が新しくごみ処理施設を建設せず、設備の整った事業者で処理する民間委託について、施設建設費用がかからないことや、将来、処理方法の変化（進化）への対応が可能となりますので有効な方法として、今後の方向性の確認及び検討をしているところです。

## 清掃センター施設の今後は？

焼却炉は稼働を止めた後、解体する予定です。併設する「もやせないごみの処理施設」については、解体又は一部利用などの検討を行います。解体費用等については羊蹄山麓町村と協議し進めていきます。



# 食品の放射性物質簡易検査結果

平成24年6月1日より受付を開始いたしました食物等放射性物質簡易検査で、9月20日までに町民より受け付けた4件の結果を公表します。

測定日	検体名	産地	放射性セシウム Cs 134	放射性セシウム Cs 137
6月7日	サツマイモ	茨城県	検出せず	
7月10日	鶏もも肉	宮城県		
7月24日	こんにゃく	原材料：群馬県		
8月28日	梨	千葉県		

※国の定める放射性セシウムの基準値  
…100 Bq/kg (一般食品)

※測定下限値…25 Bq/kg  
(基準値の1/4以下)

## 用語解説

『Bq(ベクレル)って?』

…放射性物質の量を測るための単位。異なった種類の放射性物質でも、ベクレルで表わした量が等しければ、出てくる放射線の量は同程度。

※補足『Sv(シーベルト)って?』

…被曝によって人がどれくらいダメージを受けた可能性があるかを表わす単位。年間や生涯での通算で用いる。外部被曝にも内部被曝にも用いる。



放射性物質の簡易測定器

清掃センター



他町村の対応は?

これまでどおり、羊蹄山麓7町村と協力してごみ処理を行っていただくことで協議を進めています。

今後の対応

処理方法や事業方式が変更しても皆さんの生活に支障のないよう、経費を最小限にかつ最大の効果が得られるよう、将来への負担を掛けずに進めなければなりません。  
広報では今後も町民の方々全てに関係する『ごみ問題』について進捗状況等をお知らせしてまいります。

現在の区分  
資源化率 = 55.1%

ごみの種類	比率	年間量
資源ごみ (缶・プラ・ペット類)	31.0%	3,478 t
生ごみ	24.1%	2,695 t
不燃ごみ	11.4%	1,281 t
破碎分別 (もやせないごみへ)	8.0%	897 t
破碎分別 (もやせるごみへ)	3.4%	384 t
可燃ごみ	33.5%	3,751 t
紙類	24.1%	2,700 t
生ごみ	5.0%	563 t
衛生ごみ類	4.4%	488 t
総排出量	100%	11,205 t

※数値は羊蹄山ろく7町村のごみの合計量

固形燃料化方式での処理  
資源化率 = 87.6%

ごみの種類	年間量
資源ごみ (缶・プラ・ペット類)	3,478 t
堆肥化処理	2,695 t
埋立処理	897 t
固形燃料処理	384 t
固形燃料処理	2,700 t
堆肥化処理	563 t
焼却(炭化)処理	488 t

まとめると…



## 用語解説

『資源化率って?』

…ごみをどれくらいリサイクルしたかを計る数値の一つで、資源ごみと生ごみ量を年間ごみ総排出量で割った数値です。

ごみの種類	年間量
資源ごみ (缶・プラ・ペット類)	3,478 t
固形燃料処理	3,084 t
焼却(炭化)処理	488 t
堆肥化処理	3,258 t
埋立処理	897 t
総排出量	11,205 t